

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和7年度に3回(6月～8月)の有識者による教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検および評価に係る会議を開催

(2) 評価の方法

外部有識者4名により、事務点検及び評価を行い、その評価結果を議会に報告し、ホームページにて公表した。

4. 総合的な所見

施設整備計画に計画していた事業は、計画どおり実施することができ、生徒の安心・安全で快適な学習環境を整備することができた。
評価委員からの「老朽化した学校施設について優先順位を考慮しながら適切に改修工事がなされており、引き続き計画的な改修を望む」や「現状をしっかりと把握し、児童生徒の安全で安心な教育環境の確保に向けた改修が計画的になされている」という意見を踏まえ、今後も、令和元年度に策定した長門市学校施設長寿命化計画に基づいて、緊急性や安全性も勘案しながら、学校施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの削減及び施設の有効活用と効率的かつ円滑な更新を進めていく。

5. 各目標の達成状況

(1) 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

日置小学校の管理教室棟のトイレについて、洋式化や床、壁等の全面的な改修工事を実施し、学校環境の向上を図った。

三隅中学校について老朽化が著しい空調設備を更新し、特別教室に空調設備を新設し、学校環境の向上を図った。

深川中学校、日置中学校についても、老朽化が著しい空調設備を更新し、学校環境の向上を図った。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針			事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分			
日置小学校	(4)	06	大規模改造(トイレ)	校		R6.3～R6.3	R6.12.2	
三隅中学校	(4)	06	大規模改造(空調)	校		R6.3～R6.3	R6.11.29	
深川中学校	(4)	06	大規模改造(空調)	校		R6.3～R6.3	R6.7.16	
日置中学校	(4)	06	大規模改造(空調)	校		R6.3～R6.3	R6.9.19	